



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 大日精化工業株式会社

コード番号 4116 URL <http://www.daicolor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 弘二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役理財部門担当

(氏名) 武市 義彦

TEL 03-3662-7111

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	113,613	△4.0	6,761	△2.7	7,137	4.4	4,644	26.3
24年3月期第3四半期	118,373	△1.5	6,949	△10.6	6,835	△5.5	3,677	△21.9

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 4,776百万円 (54.8%) 24年3月期第3四半期 3,084百万円 (△14.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	50.02	—
24年3月期第3四半期	39.60	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	154,059	54,335	34.2	568.11
24年3月期	152,405	50,684	32.3	530.51

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 52,749百万円 24年3月期 49,260百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年3月期	—	6.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	2.5	9,100	6.8	9,100	6.7	5,400	25.2	58.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の4及び5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	93,065,554 株	24年3月期	93,065,554 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	214,253 株	24年3月期	209,430 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	92,853,575 株	24年3月期3Q	92,858,579 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に關しましては添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2．サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3．四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、震災復興需要を背景に緩やかながらも持ち直しの兆しが見られましたが、海外経済の減速の影響を受け輸出や生産が減少するなど総じて弱含みで推移しました。海外経済におきましては、米国経済は緩やかな回復傾向を示しましたが、欧州では債務問題の影響により引き続き景気は低迷いたしました。中国経済は景気拡大のテンポは鈍化しているものの、景気対策効果により徐々に持ち直しの動きが見られました。

この様な環境のもとで、当第3四半期連結累計期間の売上高は、洪水被害を受けたタイ子会社の復旧途上による売上高の減少の影響もあり、1,136億1千3百万円（前年同期比4.0%減）となりました。利益面につきましては、売上高が減少したことなどにより、営業利益は67億6千1百万円（同2.7%減）となり、経常利益は、円安により為替差損から為替差益に転じたことなどにより71億3千7百万円（同4.4%増）となりました。四半期純利益は、特別利益にタイ洪水に伴う受取保険金を計上したことや、特別損失の投資有価証券評価損が減少したことなどにより、46億4千4百万円（同26.3%増）となりました。

次に事業セグメントの業績についてご報告いたします。

なお、営業利益につきましては、全社費用等の配分前で記載しております。

#### (化成品事業)

当事業は、無機・有機顔料、各種着色剤、情報記録材料の製造・販売を行っております。IT関連業界向け情報記録関連材料は比較的堅調に推移しましたが、印刷インキ業界向けを中心とした顔料は低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は173億8千1百万円（同8.1%減）、営業利益は29億5千万円（同2.9%減）となりました。

#### (化学品事業)

当事業は、各種合成樹脂着色剤・コンパウンド、各種コート材の製造・販売を行っております。車両業界向けの各種コンパウンドは、期前半はエコカー補助金などの経済政策を受け国内車両業界を中心に好調に推移しました。また、生活関連業界向けの各種合成樹脂着色剤は猛暑の影響もあり全体的に堅調な受注が続きました。しかしながら、洪水被害を受けたタイ子会社の復旧途上による売上高の減少の影響を受け、事業全体としては前年並みの水準には至りませんでした。

これらの結果、当セグメントの売上高は606億8百万円（同4.1%減）、営業利益は33億5千3百万円（同25.8%減）となりました。

#### (高分子事業)

当事業は、高分子製品、天然高分子製品の製造・販売を行っております。車両業界向けの各種ウレタン樹脂は、国内向けはエコカー補助金などの経済政策に支えられ好調に推移しました。また、北米市場向けも米国の景気回復に伴って堅調に推移しました。しかしながら、衣料品向けのウレタン樹脂は業界の在庫調整の影響を受け弱含みで推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は124億2千5百万円（同4.4%増）、営業利益は22億7千7百万円（同31.0%増）となりました。

#### (印刷総合システム事業)

当事業は、各種印刷インキの製造・販売及び事業に付帯する商品とサービスを提供しております。グラビアインキは、期前半は、猛暑の影響によりパッケージング業界向けが飲料関連を中心に堅調に推移しましたが、期央以降は閑散期に入り減速傾向となりました。オフセットインキは流通関連を中心とした商業印刷業界向けが期全体では弱含みで推移しました。利益面につきましては、販売価格の改定や売上原価の改善などにより増益となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は219億2百万円（同5.0%減）、営業利益は18億6千6百万円（同32.3%増）となりました。

#### (その他事業)

当事業は、原材料の転売、グループ各社への不動産賃貸及び金融事業等を行っております。

当セグメントの売上高は12億9千6百万円（同1.6%減）となりました。営業損益は、不動産賃貸にかかる収入を売上高に含めず営業外収益として計上したことなどにより、1億9千3百万円の損失となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,540億5千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ16億5千3百万円増加致しました。これは、在庫の手当などにより流動資産が10億1千1百万円増加したこと及び工場の新設により有形固定資産が4億3千7百万円増加したことなどによるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は997億2千4百万円となり、前連結会計年度末と比べ19億9千6百万円減少致しました。これは、賞与引当金及び退職給付引当金の減少などによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は543億3千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ36億5千万円増加致しました。これは、四半期純利益の計上等により利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表した以下の数値より変更はありません。

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	160,000	9,100	9,100	5,400

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

## (減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 会計上の見積りの変更

## (耐用年数の変更)

当社は、当第3四半期連結会計期間において、当社の本社建物の建替えを行なうことを決定致しました。当該建替えに伴い、利用不能となる当社及び連結子会社の保有する資産については、耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,458	24,391
受取手形及び売掛金	45,731	44,694
有価証券	125	145
たな卸資産	22,246	24,587
その他	3,537	2,223
貸倒引当金	141	72
流動資産合計	94,958	95,970
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,943	19,905
その他(純額)	21,486	21,962
有形固定資産合計	41,430	41,867
無形固定資産		
その他	981	950
無形固定資産合計	981	950
投資その他の資産		
投資有価証券	10,057	9,925
その他	5,342	5,504
貸倒引当金	364	158
投資その他の資産合計	15,035	15,271
固定資産合計	57,447	58,089
資産合計	152,405	154,059
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,266	30,338
短期借入金	25,042	24,294
1年内返済予定の長期借入金	9,110	8,692
未払法人税等	1,245	1,510
賞与引当金	2,024	1,027
環境対策引当金	209	135
その他	5,937	4,904
流動負債合計	73,836	70,902
固定負債		
長期借入金	17,501	19,184
退職給付引当金	7,631	6,955
役員退職慰労引当金	417	438
環境対策引当金	759	664
その他	1,573	1,578
固定負債合計	27,883	28,821
負債合計	101,720	99,724

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,193	9,193
利益剰余金	34,642	38,172
自己株式	89	90
株主資本合計	53,786	57,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	629	544
繰延ヘッジ損益	17	18
為替換算調整勘定	5,138	5,091
その他の包括利益累計額合計	4,525	4,565
少数株主持分	1,424	1,585
純資産合計	50,684	54,335
負債純資産合計	152,405	154,059

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	118,373	113,613
売上原価	99,333	94,945
売上総利益	19,040	18,668
販売費及び一般管理費	12,090	11,907
営業利益	6,949	6,761
営業外収益		
受取利息	22	34
受取配当金	193	184
負ののれん償却額	67	-
持分法による投資利益	38	44
保険配当金	172	202
その他	352	574
営業外収益合計	847	1,041
営業外費用		
支払利息	601	532
為替差損	247	-
その他	111	132
営業外費用合計	960	664
経常利益	6,835	7,137
特別利益		
固定資産売却益	50	3
受取保険金	-	437
その他	0	110
特別利益合計	50	552
特別損失		
固定資産除却損	94	115
減損損失	-	179
投資有価証券評価損	561	38
環境対策費	175	-
その他	0	126
特別損失合計	832	458
税金等調整前四半期純利益	6,053	7,230
法人税、住民税及び事業税	1,265	2,022
法人税等調整額	995	397
法人税等合計	2,261	2,420
少数株主損益調整前四半期純利益	3,792	4,810
少数株主利益	115	166
四半期純利益	3,677	4,644

( 四半期連結包括利益計算書 )  
( 第 3 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,792	4,810
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	149	89
繰延ヘッジ損益	7	1
為替換算調整勘定	465	15
持分法適用会社に対する持分相当額	100	40
その他の包括利益合計	707	34
四半期包括利益	3,084	4,776
( 内訳 )		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,031	4,605
少数株主に係る四半期包括利益	52	171

( 3 ) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

( 4 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業 (注1)	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	18,914	63,169	11,905	23,066	1,317	118,373	-	118,373
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	233	29	52	0	12,051	12,367	(12,367)	-
計	19,148	63,199	11,958	23,066	13,368	130,740	(12,367)	118,373
セグメント利益 (営業利益) (損失)	3,039	4,516	1,737	1,410	191	10,513	(3,563)	6,949

(注)1. 「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行っておりません。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用3,563百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化成品 事業	化学品 事業	高分子 事業	印刷総合 システム 事業	その他 事業 (注1)	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	17,381	60,608	12,425	21,902	1,296	113,613	-	113,613
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	239	18	53	0	11,309	11,621	(11,621)	-
計	17,620	60,626	12,479	21,902	12,605	125,235	(11,621)	113,613
セグメント利益 (営業利益) (損失)	2,950	3,353	2,277	1,866	193	10,255	(3,494)	6,761

(注)1. 「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行っておりません。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用3,494百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。